DENON

CD プレーヤー

DCD-755SE

取扱説明書

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに「保証書」・「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」と共に大切に保管してください。
- この製品は持ち込み修理対象製品です。
  出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承願います。詳しくは、☞17 ページ「保証と修理について」をご覧ください。

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜け

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で
表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

電源コードは大切に
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない
機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水をかけたり、濡らしたりしない
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない
内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら
機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

乾電池は充電しない
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない
火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

必ず実施

禁止

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

必ず実施

禁止

電池を交換するときは

- 極性表示に注意し、表示通りに正しく入れる
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

手の挟み込み注意

指のけがに注意

ディスク挿入口に手を入れない

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

移動させるときは

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

総目次

ご使用になる前に

接続のしかた

再生のしかた

本機の特長

1. AL24 Processing と High-precision 24bit D/A Converter

DENON 独自のアナログ波形再現技術 AL24 Processing を搭載。
16bit のデジタルデータを 24bit に拡張することで微小信号の再現性を高めました。
また、AL24 Processing で拡張したデジタルデータをアナログ信号に変換するために 24bit/192kHz に対応した高性能 D/A Converter を採用しています。

2. USB と iPod のダイレクト再生

フロントパネルに USB 端子を装備。USB プレイヤーや USB メモリーを接続して MP3/WMA ファイルを再生できます。
iPod は iPod に付属の専用 USB ケーブルを使って接続します。iPod や USB プレイヤーまたは USB メモリーの音楽ファイルをデジタル信号で伝送し、本機のオーディオ回路により、高音質なオーディオ再生をお楽しみいただけます。

3. 16 文字・2 行表示の大型表示管

MP3 ファイルや iPod の再生中、大型表示管に文字情報を表示します。

4. ピッチコントロール機能

CD の再生ピッチを 0.1%ステップで± 12%まで調整できます。（CD 再生時のみ）

ステレオ音のエチケット

- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

付属品について

ご使用の前にご確認ください。

	数量
① リモコン（RC-1133）	1
② 単 4 形乾電池	2
③ ピンプラグコード（長さ：約 1.0m）	1
④ 取扱説明書（本書）	1
⑤ 製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内	1
⑥ 保証書（梱包箱に貼り付けられています。）	1

① ② ③

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。

取り扱い上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音（ノイズ）が入る場合があります。携帯電話は、本機から離れたところでご使用ください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

結露現象についてのご注意

本機内部の温度と周囲の温度に大きな差があると、製品内部の動作部に結露（露付き）が起き、正常に動作しなくなることがあります。
その場合は電源を入れたまま 1 ～ 2 時間放置してから、使用してください。

お手入れについてのご注意

- キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
  化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

ディスクについて

本機で使用できるディスク

❶ 音楽用 CD

本機で使用できる CD は、右のマークがついているものです。

❷ CD-R/CD-RW

- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※ ファイナライズとは？
　録音された CD-R/CD-RW を再生対応機で再生できるように処理することです。

ご注意

ハート型や八角形など特殊形状の CD は再生できません。故障の原因になりますので使用しないでください。

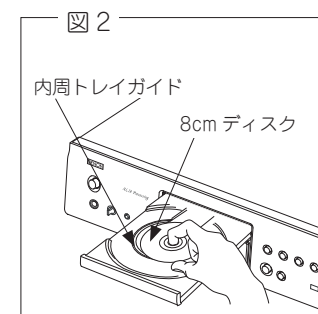
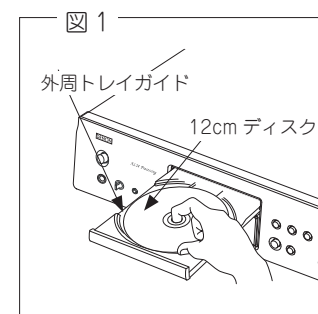
ディスクの持ちかた

ディスク情報面に触らないようにしてください。

ディスクの入れかた

- レーベル面を上にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm ディスクは外周トレイガイド（図 1）に合わせ、8 cm ディスクは内周トレイガイド（図 2）に合わせて、水平に載せてください。

図 1

図 2

- 8 cm ディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて入れてください。

- 再生できないディスクを入れた場合は、“00 Tr 00 : 00” が表示されます。
- ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、“NO DISC” を表示します。

ディスクを入れる際のご注意

●ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
●ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
●セロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

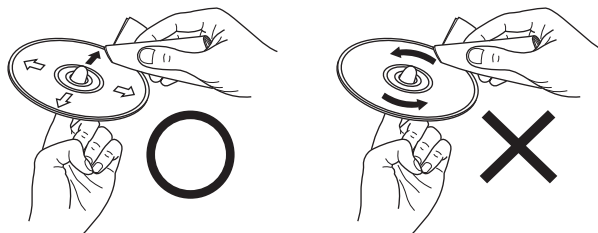
取り扱いについてのご注意

●指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
●ディスクに傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
●曲げたり、熱を加えたりしないでください。
●中心の穴を大きくしないでください。
●レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
●屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクに水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

● ご使用後は、必ずディスクを取り出してください。
● ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
● 次のような場所に置かないでください。
  1. 直射日光が長時間当たるところ
  2. 湿気・ほこりなどが多いところ
  3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

● ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。音質が低下したり、音が途切れたりすることがあります。
● 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などを使用してください。

内周から外周方向へ軽く拭く。

円周に沿っては拭かない。

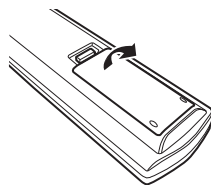
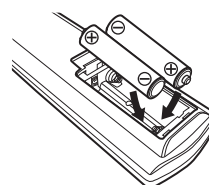
ご注意

レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

リモコンについて

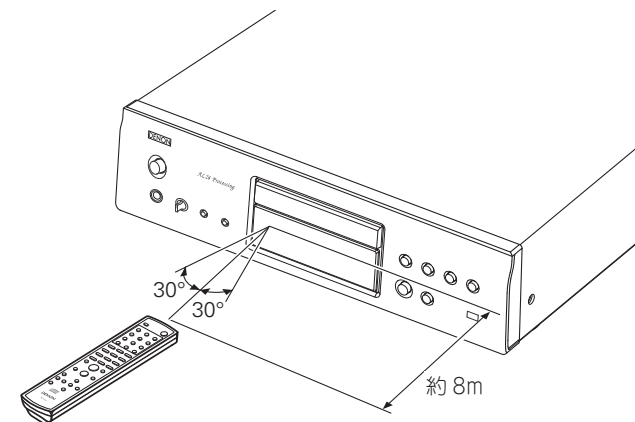
乾電池の入れかた

① 矢印のように押して引き上げる。

② 単 4 形乾電池（2 本）を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。

③ 裏ぶたを元通りにする。

ご注意

●リモコンには単 4 形乾電池をお使いください。
●リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換して ください。）
●乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示通りに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
●破損・液漏れの恐れがありますので、
  ●新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  ●違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  ●乾電池は充電しないでください。
  ●乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
●万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を 入れてください。
●リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。

ご注意

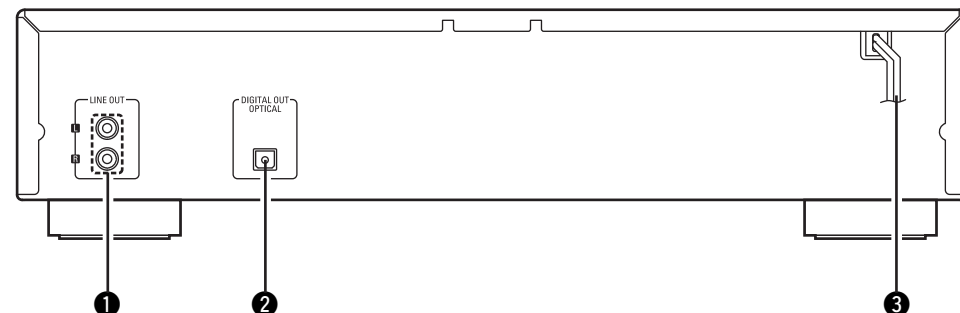
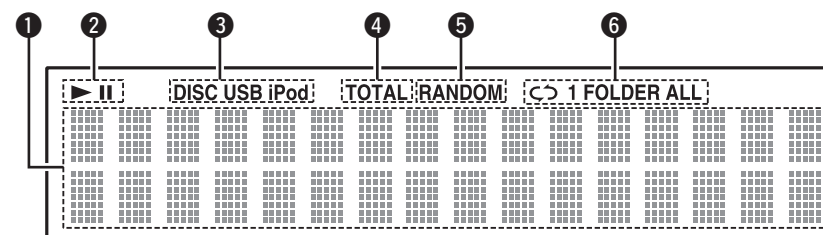
リモコン受光部に、直射日光やインバーター式蛍光灯の強い光または赤外線が当たると、誤動作をしたり、リモコンが操作できなくなったりする場合があります。

各部の名前とはたらき

各部のはたらきなど詳しい説明については、（ ）内のページを参照してください。

フロントパネル

❶ 電源スイッチ
（▁ON/STANDBY ▄OFF）………………（10）
❷ ヘッドホン端子（PHONES）………………（10）
❸ 音量調節つまみ（PHONES LEVEL）………（10）
❹ ピッチコントロールボタン
（PITCH +/–）………………………………（12）
❺ リモコン受光部………………………………（6）
❻ ディスプレイ…………………………………（7）
❼ ディスクトレイ開閉ボタン（⏏）……………（10）
❽ 再生メディアモードボタン
（DISC/USB）………………………………（10）
❾ USB 端子（USB）………………………………（9）
❿ スキップボタンボタン
（I◀◀、▶▶I）……………………………（11、13）
⓫ ストップボタン（■）…………………………（11）
⓬ プレイ / ポーズボタン（▶/II）………（10 ～ 13）
⓭ ディスクトレイ………………………………（10）
⓮ 電源表示………………………………………（10）
- 電源オン時………………………………緑色
- スタンバイ時……………………………赤色
- 電源オフ時………………………………消灯

リアパネル

❶ アナログ出力端子（LINE OUT）………………（9）
❷ デジタル出力端子
（DIGITAL OUT OPTICAL）…………………（9）
❸ 電源コード………………………………………（9）

ディスプレイ

❶ **インフォメーションディスプレイ**
いろいろな情報を表示します。

❷ **再生モード表示**
▶ ：再生中に点灯します。
II ：一時停止中に点灯します。

❸ **再生メディア表示**

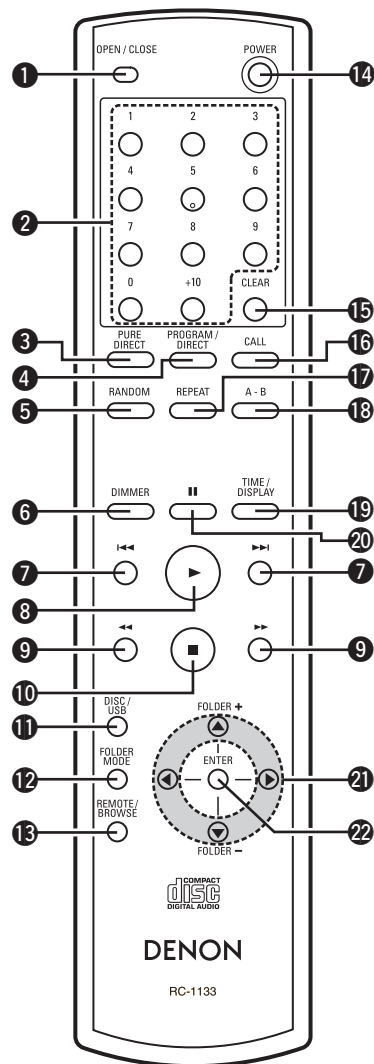
❹ **TOTAL 表示**
CD の総曲数や総時間が表示されているときに点灯します。

❺ **ランダム再生表示**

❻ **リピートモード表示**
リモコンの **REPEAT** ボタンを押すたびに、次のように点灯します。

- フォルダモード以外のモードのとき

- フォルダモードのとき

リモコン

❶ ディスクホルダー開閉ボタン
（OPEN/CLOSE）……………………………(10)
❷ 番号ボタン…………………………………(11、13)
❸ ピュアダイレクトボタン
（PURE DIRECT）…………………………(10)
❹ プログラム/ ダイレクトボタン
（PROGRAM/DIRECT）……………………(11)
❺ ランダムボタン（RANDOM）……………(11)
❻ ディマーボタン（DIMMER）……………(10)
❼ オートマチックサーチボタン
（9, 8）…………………………(11、13、15)
❽ プレイボタン（1）………………………(10、11)
❾ マニュアルサーチボタン
（6, 7）………………………………(11、15)
❿ ストップボタン（2）……………………(11、15)
⓫ 再生メディアモードボタン
（DISC/USB）………………………………(10)
⓬ フォルダモードボタン
（FOLDER MODE）…………………………(13)
⓭ リモート/ ブラウズボタン
（REMOTE/BROWSE）………………………(14)
⓮ 電源ボタン（POWER）……………………(10)
⓯ クリアーボタン（CLEAR）………………(11)
⓰ コールボタン（CALL）……………………(11)
⓱ リピートボタン（REPEAT）………………(11)
⓲ A-B間リピートボタン（A-B）…………(11)
⓳ タイム/ ディスプレイボタン
（TIME/DISPLAY）………………(11、13、14)
⓴ ポーズボタン（3）………………………(11、15)
㉑ カーソル/フォルダセレクトボタン
（FOLDER +, −）……………………………(13)
㉒ エンターボタン（ENTER）………………(13)

スキップボタン（9, 8）、**+10** および **FOLDER +, –** ボタンは、押し続けると連続的に動作します。

接続のしかた

この取扱説明書では、対応するすべての音声信号方式の接続方法を説明しています。接続する機器に合わせていずれかの接続方法をお選びください。

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくＬとＬ、ＲとＲを接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。ハムや雑音の原因となることがあります。

準備

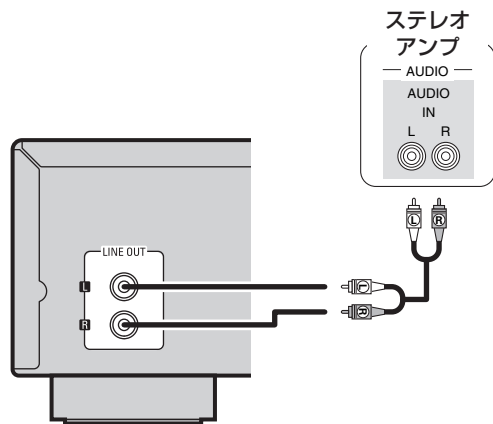
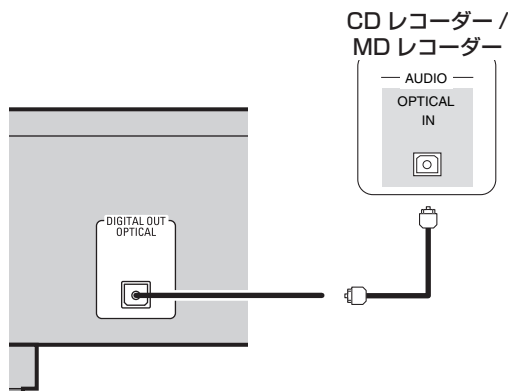
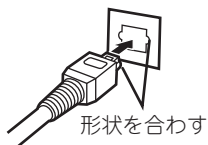
接続に使用するケーブル

ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

ステレオ音声ケーブル（付属）

光伝送ケーブル（別売）

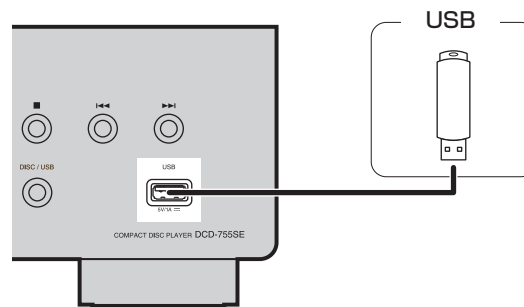
iPod 専用ケーブル（iPod に付属）

アナログ接続

デジタル接続

❑ **デジタル出力端子（OPTICAL）を光伝送ケーブル（別売り）で接続するとき**

形状を合わせて奥までしっかりと差し込んでください。

USB ポートの接続

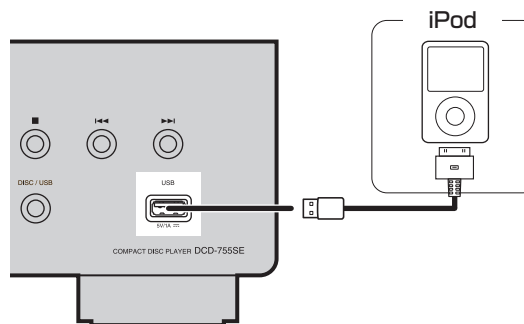
ご注意

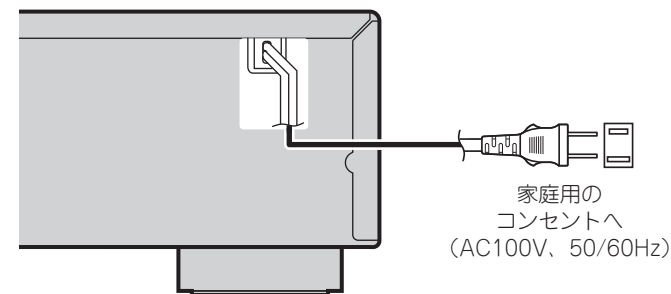
USB メモリーや iPod を接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。

USB メモリー

ご注意

- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- USB メモリーの詳細については、「再生できる USB メモリーのフォーマットについて」（☞14 ページ）をご覧ください。

iPod

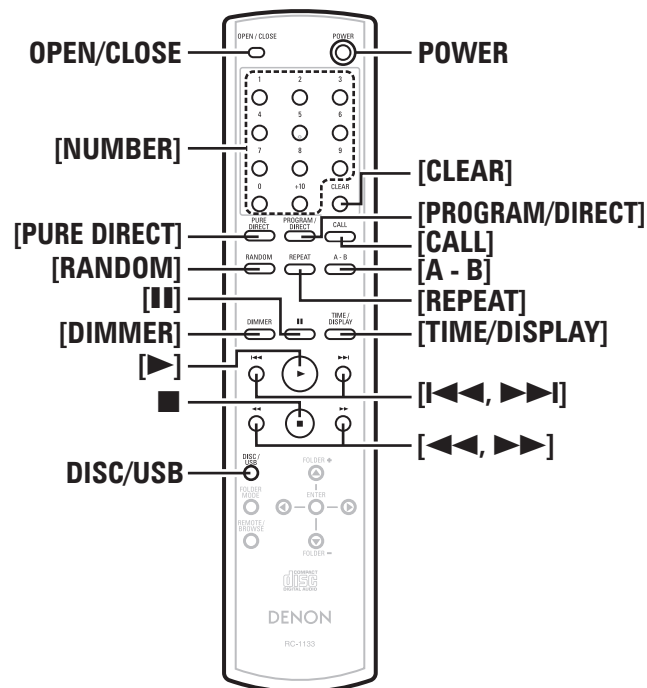
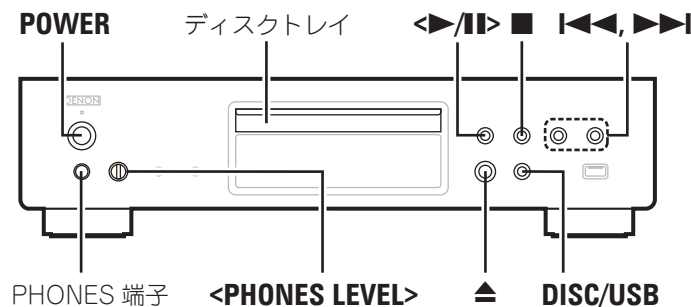
iPod に付属の iPod 専用ケーブルをお使いください。

- 本機と iPod の接続には、iPod に付属の USB ケーブルを使用してください。
- iPod は第 5 世代以降に発売された iPod touch, classic, nano で再生することができます。詳しくは web（www.denon.com）を参照してください。

電源コードの接続

ご注意

- 電源プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な差し込みは、雑音の原因になります。
- 本機が動作しているときは、電源コードを抜かないでください。

接続が終わったら

電源を入れる（☞10 ページ）

再生のしかた

準備

ディスクを再生する前に

1 本機の電源を入れる（POWER ボタンを押す。）。
- ディスクが入っていると、自動的に再生をはじめます。
- ディスクが入っていないときは、“NO DISC”を表示します。

2 DISC/USB を押して、再生メディアモードを“DISC”にする。

3 ディスクを入れる。
- **OPEN/CLOSE (⏏)** を押して、ディスクトレイを開閉します。
- **<▶/❚❚>**、**[▶]** または **[❚❚]** ボタンを押してもディスクトレイを閉じることができます。

ご注意

ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。

USB または iPod を再生する前に

1 本機の電源を入れる（POWER ボタンを押す。）。

2 USB メモリーまたは iPod ケーブルを USB 端子に接続する。
- USB メモリーまたは iPod を本機の USB 端子に接続すると、ソースメディアモードが自動的に“USB”に切り替わり、ファイルの再生をはじめます。
- ディスプレイの“USB”表示または“iPod”表示が点灯します。

再生メディアモードの設定は、電源をスタンバイにしても記憶します。

❑ **電源を切るとき**

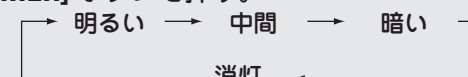
もう一度 **POWER** ボタンを押す。

ご注意
- 必ず再生を止めてから電源を切ってください。
- 電源を切っているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。

再生中にできる操作

ディスプレイの明るさを切り替える

[DIMMER] ボタンを押す。

明るい → 中間 → 暗い → 消灯 → （明るい）

※押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります。

ヘッドホンで聴く

PHONES 端子にヘッドホン（別売り）プラグを差し込む。

❑ **音量を調節する**

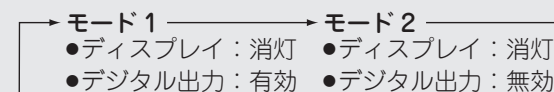
<PHONES LEVEL> つまみを回す。

ご注意

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げ過ぎないように注意してください。

ピュアダイレクトモードに切り替える

停止中に **[PURE DIRECT]** ボタンを押す。

モード 1 → モード 2 → OFF → （モード 1）

- モード 1
  - ●ディスプレイ：消灯
  - ●デジタル出力：有効
- モード 2
  - ●ディスプレイ：消灯
  - ●デジタル出力：無効
- OFF
  - ●ディスプレイ：点灯
  - ●デジタル出力：有効

CD の再生

CD を再生する

1 再生の準備をする（「ディスクを再生する前に」☞10 ページ）。

2 **<▶/II> または [▶] ボタンを押す。**
"▶" 表示が点灯し、再生をはじめます。

❑ 再生を停止するには
■ ボタンを押す。

❑ 再生を一時停止するには
<▶/II> または **[II]** ボタンを押す。
"**II**" 表示が点灯します。

※再生を再開するときは、もう一度 **<▶/II>** または **[▶]** ボタンを押してください。

❑ 早送り / 早戻し（サーチ）をするには
再生中に **[◀◀, ▶▶]** ボタンを押し続ける。

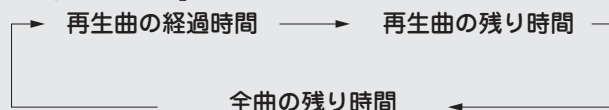
❑ 頭出しをするには
再生中に **I◀◀, ▶▶I** ボタンを押す。

※押した回数だけ曲を飛び越します。
※ 戻し方向に 1 回押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

❑ 好きな曲を聞くには（リモコンのみ）
[NUMBER]（**0 ~ 9, +10**）ボタンで再生したい曲の番号を選ぶ。
【例】4 曲目　：**[4]**
【例】12 曲目　：**[+10]**, **[2]**
【例】20 曲目　：**[+10]**, **[+10]**, **[0]**

ディスプレイ表示を切り替える

[TIME/DISPLAY] ボタンを押す。

再生曲の経過時間 → 再生曲の残り時間 → 全曲の残り時間 →（再生曲の経過時間）

※ボタンを押すたびに切り替わります。

リピート再生をする

[REPEAT] ボタンを押す。
それぞれのくり返し再生をはじめます。

1　1 曲リピート → ALL　全曲リピート → OFF（表示消灯）→（1　1 曲リピート）

【選択できる項目】

1（1 曲リピート）	：1 曲のみをくり返して再生します。
ALL（全曲リピート）	：全曲をくり返して再生します。
リピートオフ(表示消灯)	：通常の再生に戻ります。

任意の 2 点区間をくり返して聞く <A-B 間リピート再生＞

1 **再生中にくり返しをはじめる位置（A）で、[A-B] ボタンを押す。**
"REPEAT A" 表示が点滅します。

2 **<▶/II> ま再生中にくり返しを終わる位置（B）で、もう一度 [A-B] ボタンを押す。**
"REPEAT A-B" 表示が点灯し、A-B 間をくり返し再生します。

❑ A-B 間リピート再生を止めるとき
もう一度 **[A-B]** ボタンを押す。

✎

プログラム再生中およびランダム再生中は、A-B 間リピート再生ができません。

ランダム再生する

1 **停止中に [RANDOM] ボタンを押す。**
""RANDOM" を表示します。

2 **<▶/II> または [▶] ボタンを押す。**
順不同に再生をはじめます。

❑ ランダム再生を止めるとき
停止中に **[RANDOM]** ボタンを押す。
"RANDOM" が消灯します。

✎

ランダム再生中に **[REPEAT]** ボタンを押すと、一通りのランダム再生後、違った曲順でランダム再生をおこないます。

ご注意

ランダム再生中に、ダイレクト選曲はできません。

好きな順に再生する＜プログラム再生＞

最大 25 曲までプログラムできます。

1 **停止中に [PROGRAM/DIRECT] ボタンを押す。**
"PGM" を表示します。

2 **[NUMBER]（0 ~ 9, +10）ボタンを押して、曲番を選ぶ。**
【例】3 曲目、12 曲目、7 曲目の順にプログラムしたい場合：
[PROGRAM/DIRECT], **[3]**, **[+10]**, **[2]**, **[7]** と押す。

3 **<▶/II> または [▶] ボタンを押す。**
プログラムされた順に再生を始めます。

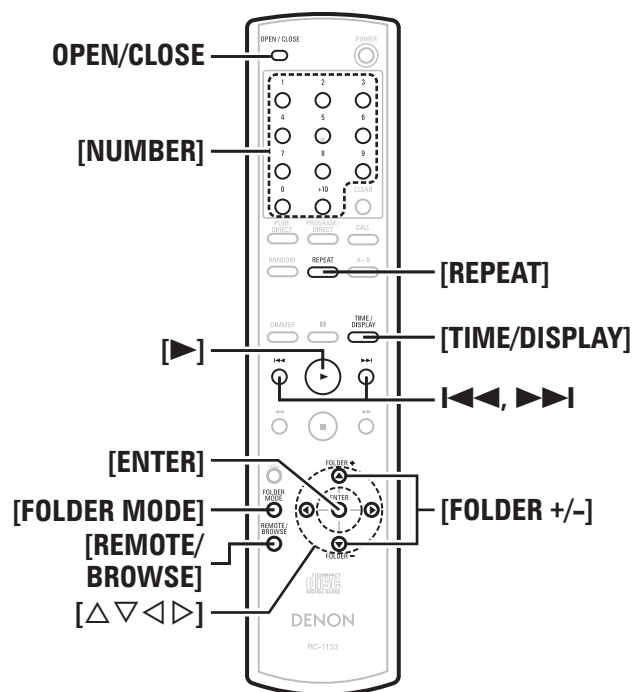
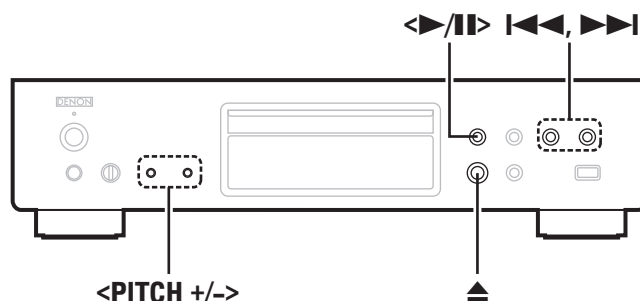
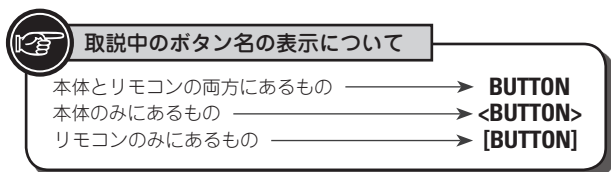
❑ プログラムした曲順を確認するには
停止中に **[CALL]** ボタンを押す。
押すたびにプログラムされた順に曲番を表示します。

❑ プログラムした最後の曲を取り消すには
停止中に **[CLEAR]** ボタンを押す。
押すたびに最後にプログラムされた曲を取り消します。

❑ プログラムした 1 曲のみを取り消すには
停止中に **[CALL]** ボタンを押して、取り消したい曲を選び、**[CLEAR]** ボタンを押す。

❑ プログラムした曲をすべて取り消すには
停止中に **[PROGRAM/DIRECT]** ボタンを押す。

✎

- プログラム再生中に **[REPEAT]** ボタンを押すと、プログラムした曲順に再生を繰り返します。
- プログラム再生中に **[RANDOM]** ボタンを押すと、プログラムした曲をランダムに再生します。

再生の速度を変える ＜ピッチコントロール再生＞

再生の速度を速くしたり、遅くしたりすることができます。

<PITCH +> または <PITCH –> ボタンを押す。
可変量を表示します。

※再生速度は、－ 12.0%～＋ 12.0%の範囲内で変えることができます。

❑ ピッチコントロールを止めるとき

<PITCH +> と **<PITCH –>** を同時に押す。または、**OPEN/CLOSE (⏏)** でディスクホルダーを開く。

- ピュアダイレクトモードのときは、ピッチコントロール再生はできません。
- ピッチコントロール再生中、デジタル出力端子（OPTICAL）からデータは出力しません。データを出力する場合は、通常の再生に戻してください。
- ピッチコントロール再生中、時間表示は正確ではありません。
- 速度を変えると、再生の音程も変化します。
- ピッチコントロールは CD 再生時のみはたらきます。

MP3 や WMA ファイルの再生

インターネットのホームページ上には、MP3 形式や WMA（Windows Media® Audio）形式の音楽ファイルをダウンロードできる様々な音楽配信サイトがあります。そのサイトからダウンロードした音楽（ファイル）を CD-R/CD-RW に書き込むことにより、本機で再生することができます。

“Windows Media”および“Windows”は、米国やその他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

再生できる MP3 や WMA のフォーマットについて

次のフォーマットで作成された CD-R または CD-RW ディスクを再生することができます。

ライティングソフトのフォーマット

ISO9660 レベル 1
※他のフォーマットで記録された場合は、正しく再生できないことがあります。

再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

フォルダ数とファイル数の合計：512 個
最大フォルダ数：256 個

ファイル形式

MPEG-1 Audio Layer-3
WMA（Windows Media Audio）

タグ情報

ID3 タグ（Ver.1.x と 2.x）
META タグ
（タイトル、アーティストおよびアルバムに対応）

再生可能な MP3/WMA ファイル

ファイルフォーマット	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32/44.1/48 kHz	32 ～ 320 kbps	.MP3
WMA	32/44.1/48 kHz	64 ～ 192 kbps	.WMA

- ファイルには必ず拡張子“.MP3”“.WMA”を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

MP3 や WMA ファイルを再生する

1 MP3 や WMA 形式の音楽ファイルを書き込んだ CD-R/CD-RW をディスクトレイに入れる（☞5 ページ）。

2 [FOLDER MODE] ボタンを押して、“フォルダモード”または“ディスクモード”を選ぶ。

【表示について】
フォルダモードのとき …………“FOLDER”表示点灯
ディスクモードのとき …………“FOLDER”表示消灯

フォルダモード：
選択したフォルダ内のすべてのファイルを再生します。

ディスクモード：
選択したフォルダおよびファイルの再生後、すべてのフォルダ内のファイルを再生します。

3 [FOLDER +, –] ボタンを押して、再生したいフォルダを選ぶ。

4 ⏮,⏭ または [◁, ▷] ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ。

5 <▶/II> または [▶] ボタンを押す。

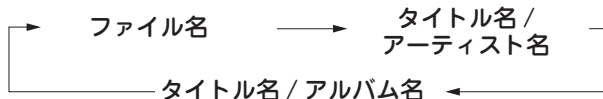
❑ 再生中にフォルダやファイルを変えるには

- **フォルダ**
  [FOLDER +, –] ボタンでフォルダを選び、**[ENTER]** ボタンを押す。
- **ファイル**
  [◁, ▷] ボタンでファイルを選び、**[ENTER]** ボタンを押す。
  または ⏮, ⏭ ボタンでファイルを選ぶか、**[NUMBER] (0 ~ 9)** ボタンでファイル番号を選ぶ。

※ファイル番号は、ディスク読み込み時に自動で設定されます。

✎
著作権保護されたファイルは再生できません。
（この場合“Not Support”を表示します。）
また書き込みソフトや状態により、再生できない場合や正しく表示できない場合があります。

❑ 表示を切り替えるには

再生中に **[TIME/DISPLAY]** ボタンを押す。

※表示できる文字は次の通りです。

A ～ Z	a ～ z	0 ～ 9

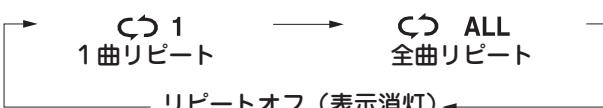
! ” # $ % & : ; < > ? @ \ [ ] _ `	{ } ~ ^ ’ ( ) * + , - . / =（空白）

❑ リピート再生するには

[REPEAT] ボタンを押す。
それぞれのくり返し再生をはじめます。

※“フォルダモード”および“ディスクモード”では選択できるリピートモードが異なります。

“フォルダモード”のとき：

“ディスクモード”のとき：

【選択できる項目】

“フォルダモード”のとき：

1 FOLDER	：選んだファイルのみをくり返し再生します。
FOLDER	：選んだフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
FOLDER	：フォルダモード再生に戻ります。

“ディスクモード”のとき：
「リピート再生をする」（☞11 ページ）をご覧下さい。

❑ ランダム再生するには

「ランダム再生をする」（☞11 ページ）をご覧下さい。

ご注意
MP3/WMAのディスクではプログラム再生はできません。

iPod® の再生

iPod の音楽を聴くことができます。さらに、本機およびリモコンで iPod を操作することができます。

“Made for iPod” means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
iPod is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

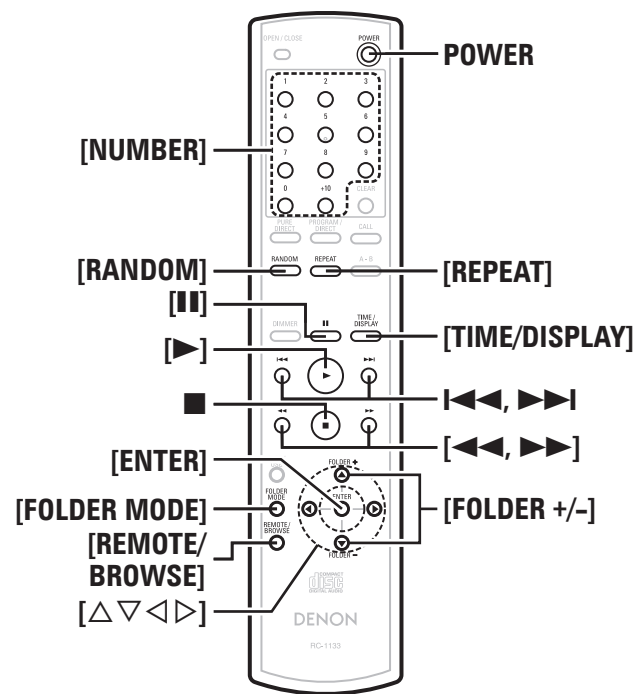
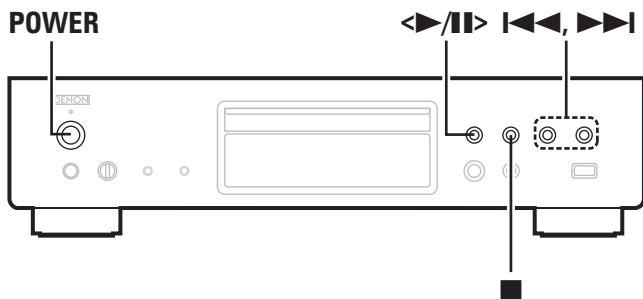
※iPod は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

1 再生の準備をする（「USB または iPod を再生する前に」☞10 ページ）。

2 [REMOTE/BROWSE] ボタンを押して、表示モードを選ぶ。
押すたびに、モードが切り替わります。

【選択できるモード】		ブラウズモード	リモートモード
表示するディスプレイ		本機のディスプレイ	iPod のディスプレイ
再生できるファイル	音声ファイル	○	○
	映像ファイル	×	○
操作できるボタン	本機と本機のリモコン	○	○
	iPod	×	○

3 [△, ▽] ボタンでメニューを選び、[ENTER] ボタンで再生したい音楽ファイルを選ぶ。

4 <▶/II> または [▶] ボタンを押す。
再生をはじめます。

リモコンのボタンとiPod のボタンの対応関係

リモコンのボタン	iPod のボタン	本機の動作
▶	▶II	再生 ※リモートモード時は再生 / 一時停止
I◀◀, ▶▶I	I◀◀, ▶▶I	オートサーチ（頭出し）
◀◀, ▶▶	I◀◀, ▶▶I （長押し）	マニュアルサーチ（早戻し、早送り）
△, ▽	Click Wheel	カーソル上下左右
ENTER, ▷	Select	設定の確定 / 再生
REMOTE/ BROWSE	—	ブラウズモードとリモートモードの切り替え
REPEAT	—	リピート再生
RANDOM	—	ランダム再生
◁	MENU	メニューの呼び出し / メニューのリターン

ご注意

- 万一、iPod のデータが消失または損傷しても、弊社は一切責任を負いません。
- iPod のソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できない場合があります。

本機のディスプレイ表示を切り替えるには

再生中に **[TIME/DISPLAY]** ボタンを押す。
ボタンを押すたびに切り替わります。

iPod を取り外す

1 **POWER ボタンを押して、本機の電源をスタンバイ状態にする。**

2 USB 端子から iPod ケーブルを抜く。

USB の再生

再生できる USB メモリーのフォーマットについて

次のフォーマットで作成された、USB メモリーに保存されているファイルを再生することができます。

USB対応ファイルシステム

“FAT16”または“FAT32”
※USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭ドライブのみ選択できます。

再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

1 つのフォルダの中の最大ファイル数：255 個
最大フォルダ数：255 個

ファイル形式

MPEG-1 Audio Layer-3
WMA（Windows Media Audio）

タグ情報

ID3 タグ（Ver.1.x と 2.x）
META タグ
（タイトル、アーティストおよびアルバムに対応）

再生可能な MP3/WMA ファイル			
ファイルフォーマット	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32/44.1/48 kHz	32 ～ 320 kbps	.MP3
WMA	32/44.1/48 kHz	64 ～ 192 kbps	.WMA

本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生することができます。
※インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

USB メモリーを再生する

1 **再生の準備をする（「USB または iPod を再生する前に」☞10 ページ）。**

2 **[FOLDER MODE] ボタンを押して、“フォルダモード”または“メモリーモード”を選ぶ。**

【表示について】
フォルダモードのとき …………“FOLDER”表示点灯
メモリーモードのとき …………“FOLDER”表示消灯
フォルダモード：
選択したフォルダ内のすべてのファイルを再生します。
メモリーモード：
選択したフォルダおよびファイルの再生後、すべてのフォルダ内のファイルを再生します。

3 **[FOLDER +, –] ボタンを押して、再生したいフォルダを選ぶ。**

4 **|◀◀,▶▶| または [◁, ▷] ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ。**

5 **<▶/II> または [▶] ボタンを押す。**

❑ 再生中にフォルダやファイルを変えるには

- **フォルダ**
  [FOLDER +, –] ボタンでフォルダを選び、**[ENTER]** ボタンを押す。
- **ファイル**
  [◁, ▷] ボタンでファイルを選び、**[ENTER]** ボタンを押す。または **|◀◀, ▶▶|** ボタンでファイルを選ぶか、**[NUMBER] (0 ~ 9)** ボタンでファイル番号を選ぶ。

※ファイル番号は、USB メモリー読み込み時に自動で設定されます。

❑ 再生を停止するには

■ ボタンを押す。

❑ 再生を一時停止するには

<▶/II> または **[II]** ボタンを押す。
“**II**”表示が点灯します。

※再生を再開するときは、もう一度 **<▶/II>** または **[▶]** ボタンを押してください。

❑ 早送り / 早戻し（サーチ）をするには

再生中に **[◀◀, ▶▶]** ボタンを押し続ける。

❑ リピート再生するには

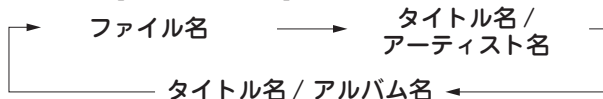
[REPEAT] ボタンを押す。

❑ ランダム再生するには

停止中に **[RANDOM]** ボタンを押す。

❑ 表示を切り替えるには

再生中に **[TIME/DISPLAY]** ボタンを押す。

ファイル名 → タイトル名 / アーティスト名 → タイトル名 / アルバム名 → ファイル名

※表示できる文字は次の通りです。

A ～ Z	a ～ z	0 ～ 9

! ” # $ % & : ; < > ? @ \ [ ] _ ` | { } ˜ ^ ’ ( ) * + , - . / =（空白）

ご注意

- USB メモリーを本機と接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。
- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。

タイマー再生をおこなう

1 **接続した各機器の電源を入れる。**

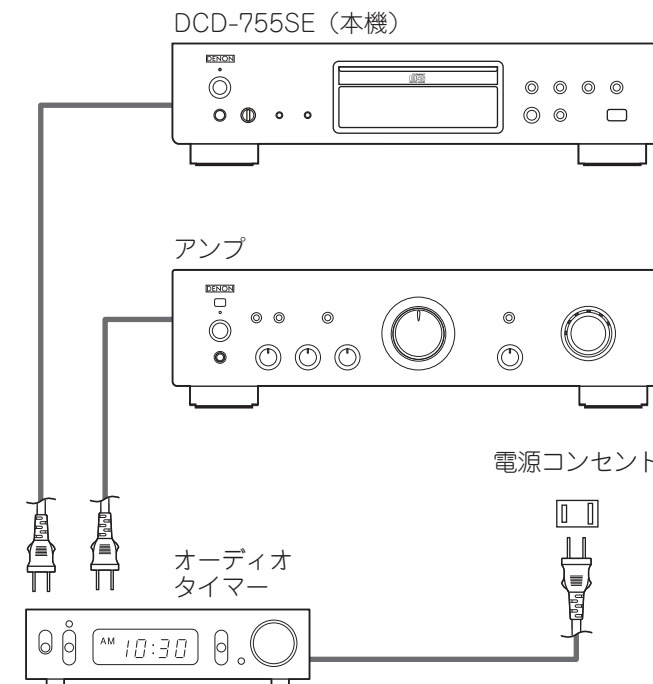
2 **アンプの入力切り替えボタンを、本機を接続しているファンクションに切り替える**

3 **本機にディスクを入れるか、USB 端子に USB メモリーまたは iPod を接続する。**

4 **オーディオタイマーを希望時刻に設定する。**

※オーディオタイマーの取扱説明書もあわせてお読みください

5 **オーディオタイマーを“ON”にする。**
オーディオタイマーに接続された機器の電源が切れます。

※設定した時刻になると、自動的に各機器の電源が入り、1 曲目から再生をはじめます。

故障かな？と思ったら

❏ 各接続は正しいですか
❏ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、弊社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

【共通】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
ディスクホルダーが開閉しない。	●電源が入っていない。	●電源を入れてください。	10
ディスクを入れても“NO DISC”表示になる。	●ディスクが正しく入っていない。	●ディスクを入れ直してください。	5
ディスクを入れても“00 Tr 00 : 00”表示になる。	●CD 以外のディスクが入っている。	●CD を入れてください	5
本機の ►/❚❚ ボタンまたはリモコンの ► ボタンを押しても再生しない。	●ディスクが汚れたり、傷が付いたりしている。	●ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。	6
音が出ない。または歪む。	●出力コードが正しくアンプに接続されていない。 ●アンプの各種調節やファンクションが不適切。	●接続を確かめてください。 ●アンプのつまみ類やファンクションを確認し、調節してください。	9 —
ディスクの特定の場所が正しく再生できない。	●ディスクが汚れたり、傷が付いたりしている。	●ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。	6
プログラム再生ができない。	●プログラム方法が違っている。 ●MP3/WMA のディスクではプログラム再生はできません。	●正しくプログラムしてください。 ●CD を使用してください。	11 11
CD-R/CD-RW が再生できない。	●ファイナライズされていない。 ●記録状態が悪い。またはディスク自体の品質が悪い。	●ファイナライズをしてから、再生してください。 ●正しく記録されたディスクをご使用ください。	5 5
リモコンを操作しても正しく動作しない。	●乾電池が消耗している。 ●本機とリモコンが離れ過ぎている。	●新しい乾電池を入れ替えてください。 ●本機にリモコンを近づけてください。	6 6
MP3 や WMA 形式で記録されたファイルを再生すると“Not Support”表示になる。	●「著作権保護された WMA ファイル」または「正しく再生できないファイル」を選んでいる。	●⏮ または ⏭ ボタンで別のファイルを選んでください。	13

【iPod】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
iPod が再生できない。	●ケーブルが正しく接続されていない。	●接続をやり直してください。	9

【USB】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
USB メモリー接続時、ディスプレイに "USB" が表示されない。	●接続不良などで、本機が USB メモリーを認識できない。	●接続を確認してください。	9
	●マスストレージクラスまたは MTP 以外の USB メモリーを接続している。	●本機は、マスストレージクラスまたは MTP 対応の USB デバイスに対応しています。それ以外の USB メモリーは認識できません。	—
	●本機が認識できないデバイスを接続している。	●故障ではありません。すべての USB メモリーに対して、動作や電源の供給を保証するものではありません。	—
	●USB ハブ経由で接続している。	●USB ハブを経由した接続はできません。また、ハブ機能を内蔵した USB デバイスも再生できません。	—
USB デバイス内のファイルが再生できない。	●USB デバイスのフォーマットが、FAT16 または FAT32 以外のフォーマットになっている。	●フォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。詳しくは、USB デバイスの取扱説明書をご覧ください。	—
	●複数のパーティションに分かれている。	●複数のパーティションに別れている場合は、第 1 パーティション以外は再生できません。	—
	●ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されている。	●対応しているフォーマットで記録してください。	14
	●著作権保護のかかったファイルを再生しようとしている。	●本機では著作権保護のかかったファイルを再生することができません。	14

保証と修理について

保証書

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

❑ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

❑ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
有料修理の料金については『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

修理を依頼されるとき

❑ 修理を依頼される前に

●取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
●正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

❑ 修理を依頼されるとき

●添付の『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
●修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

依頼の際に連絡していただきたい内容

●お名前、ご住所、お電話番号
●製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
●製造番号…保証書または製品背面（または底面や側面）に表示しています。
●できるだけ詳しい故障または異常の内容

補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後８年です。

お客様の個人情報の保護について

●お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
●この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

主な仕様

❏オーディオ特性

●アナログ出力

チャンネル：	2 チャンネル
再生周波数範囲：	2 Hz ～ 20 kH
SN 比：	110 dB
ダイナミックレンジ：	105 dB
高調波歪率：	0.0025 %（1kHz）
ワウ・フラッター：	測定限界以下
出力レベル：	2.0 V（10 k Ω）
信号方式：	16 ビット・リニア PCM
サンプリング周波数：	44.1 kHz
使用ディスク：	コンパクトディスク

●デジタル出力

OPTICAL:	－ 15 ～－ 21 dBm
発光波長：	660 nm

❏総合

電源：	AC 100 V　50/60 Hz
消費電力：	9 W（電気用品安全法による） 0.2 W（スタンバイ時）
最大外形寸法：	434（幅）× 107（高さ）× 279（奥行き）mm
質量：	4.2 kg

❏リモコン（RC-1133）

乾電池：	DC3 V 単 4 形乾電池 2 本使用
最大外形寸法：	49（幅）× 220（高さ）× 21（奥行き）mm
質量：	106 g（乾電池を含む）

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

索引

☞ 英数　ページ

☞ あ行　ページ

☞ か行　ページ

☞ さ行　ページ

☞ た行　ページ

☞ は行　ページ

☞ ら行　ページ

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川 1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：045-670-5555

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間　9：30 ～ 12：00、12：45 ～ 17：30
（弊社休日および祝日を除く、月～金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。

http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。	
購入店名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　　年　　　月　　　日	

Printed in China　5411 10319 102D